

佐賀県の空の守り「かちどき」が ついに佐賀の空に！



防災航空センター

 佐賀県
<http://www.pref.saga.lg.jp/>

待望の防災ヘリが佐賀へ！



【機種】BK117 D-2型

特徴

- ・後部ドアからの担架搬入が可能
- ・コンパクトで着陸の制限が少ない
- ・騒音が小さい など

愛称「かもどき」

「“カチ（かち）” ガラスが、
郷“土（ど）”に“奇（き）”跡をもたらす」

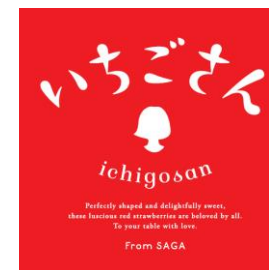
航空隊をカチガラスに見立て、
出動直前に士気を高めるための関（とき）の声、
無事に帰還した際に勝関（かもどき）をあげる意味も

機体番号「JA153L」

「JA」：国籍記号

「153」：イチゴの品種「いちごさん」

「L」：ロゴマークの女性（“L”ady）



これまで、運用に向けて着々と準備を進めてきました



R2.4.1 佐賀県防災航空隊を発足



活動班（5消防本部から派遣された隊員9名）と
運航班（ヘリの操縦、整備、運航管理）で構成

これまで・・・

- 他県航空隊と実機を使った合同訓練
- 航空機不時着訓練
- 消防学校での訓練 などを実施！

隊のエンブレム 決定！



- 県鳥「カチガラス」が佐賀県を俯瞰し、県土全体を見守っている。
- **7つの星**は、唐津の7つの離島、5消防本部・県・運航委託会社**7者の連携**を表す。

防災航空隊の活動拠点も整備

R3.1.1 佐賀県防災航空センター設置

当センターを拠点に、広域的かつ機動的に活動を展開

概要



所長・運航安全管理監・防災航空隊を配置

- 建屋（ヘリ格納庫・事務所）
- 第一駐機場（舗装エリア）
 》》 防災ヘリ駐機場（10機分）、ヘリパッド
- 第二駐機場（グラスエリア）
 》》 受援用のヘリ駐機場（12機分）、訓練

建屋の5本のラインは、航空隊に求められる災害時等の迅速な動きを表現。5消防本部から派遣された隊員が活動することも表す。

そして、今月からは自機を使った訓練をスタート！

12/26

ヘリ到着

1/12~

実機を使っの機体・地形習熟訓練

1月下旬~

飛行訓練を開始

- 山岳救助訓練
- 情報伝達訓練
- 離島への隊員投入訓練
- 県庁屋上HP離着陸訓練など



3月28日、いよいよ防災ヘリコプター運用開始！

「かちどき」が大空から佐賀を守ります！

365日運用

災害時の**初動**対応とへりの**受援**体制が充実！

県内のほぼ全域が**15分圏内**！

初動

災害時の迅速な情報収集

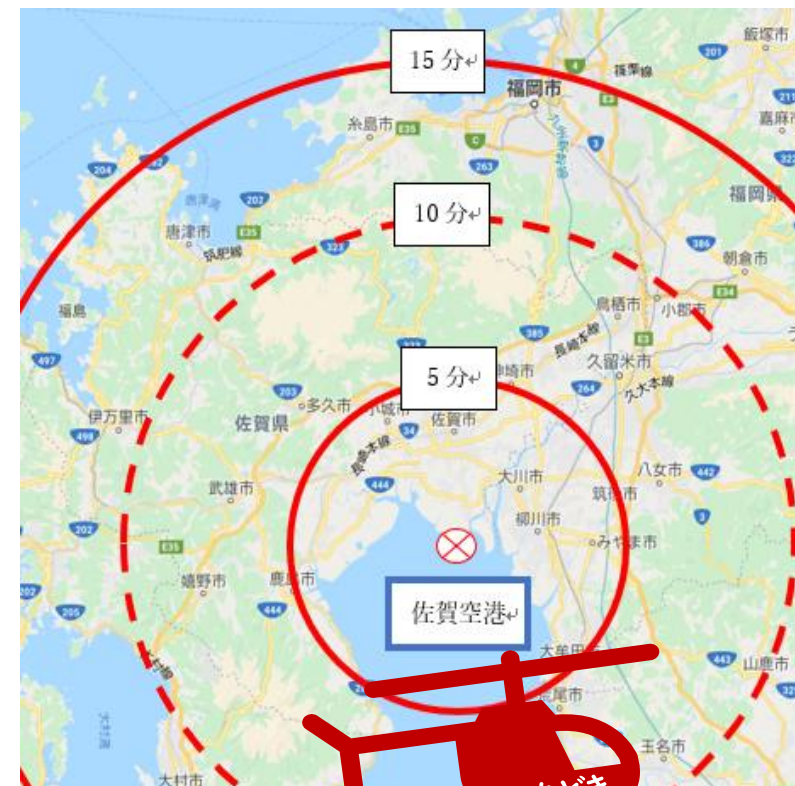
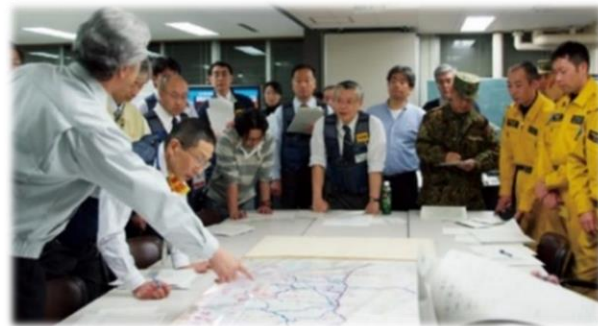


救助、救急、消火活動など
緊急要請の迅速な対応



受援体制

他県からの応援へり部隊の運用精度向上



発災

大雨、地震林野火災 など



119番



市町消防本部



出動要請



佐賀県防災航空隊

出動

災害対応のスタートダッシュの力に！



お問い合わせ先

佐賀県 政策部 危機管理防災課 消防保安室

TEL : 0952-25-7026 FAX : 0952-25-7262

MAIL : kikikanribousai@pref.saga.lg.jp

佐賀県 防災航空センター

TEL : 0952-34-9001 FAX : 0952-45-9070

MAIL : bousaikoukuusenta@pref.saga.lg.jp